

北上の樹脂加工メーカー

WINGが新工場建設

4月稼働予定

北上市二子町の樹脂加工メーカー、WING（ウィング、資本金300万円、高橋福巳社長、従業員約40人）は、本社敷地内に製管開発などを担う新工場を建設する。3次元技術を活用し部品開発を行い、その量産化に向けた製造装置を備え、4月に稼働予定。高度な知識を持つ人材も採用して技術力を高め、県南部で旺盛な半導体関連産業を中心に取引拡大を目指す。

半導体関連需要に対応

新工場は鉄骨2階建て

で延べ床面積約500平方
方、総事業費は約1億4
千万円。開発、設計、組み
立て工程の主力拠点とす

同社は半導体と液晶の製
造装置や医療機器、デジタ
ルカメラなどの電子機器部
品に使われる樹脂製品を製

造している。

開発分野はこれまで、製造分野ごとに分散して取り組んできたが、効率性を高めるため新工場に専用エリアを設けて一元化する。3次元ソフトも活用して複雑な形状にも対応できる部品を開発。それらを量産化するための製造装置もそろえ、顧客が求める製品を提案、供給する。

来年春までに5人を新規雇用。開発、工作機械の操作、検査の各分野に詳しい人材も積極的に採用し、付加価値の高い製品づくりにつなげる。

県南部では大手半導体関連メーカーが多く立地し、半導体製造装置を中心に部品需要が高まっている。開発面を強化して自社の技術力を底上げし、県が産業集積に力を入れる自動車や医療機器など各産業の受注にもつなげる。売上額は現状比20%増を目指す。

同社は1999年に設立し、本社敷地内に2工場を構える。高橋社長（58）は「高品質なものづくりを追求しながら業容を拡大し、雇用や地域経済の活性化に貢献する」と誓う。



WINGが建設中の新工場。開発部門を強化し、付加価値の高い製品づくりを目指す